

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公開番号】特開 2020-58561 (P2020-58561A)

【公開日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-015

【出願番号】特願 2018-191423 (P2018-191423)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 25 日 (2020.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定条件の成立に基づいて、遊技者に有利な特別遊技が実行される特別遊技状態に移行させるか否かの移行判定を行う移行判定手段と、

出玉性能を示す指標となる性能情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された前記性能情報が表示される性能情報表示手段と、

前記性能情報表示手段に前記性能情報を表示させる性能情報表示制御手段と、

前記性能情報表示手段に表示される前記性能情報を正面の特定方向から視認不能又は視認困難な第 1 位置と、前記性能情報表示手段に表示される前記性能情報の全体を前記正面の前記特定方向から視認可能な第 2 位置との間で移動可能な視認制限手段と、

前記特別遊技状態において前記視認制限手段の前記第 1 位置と前記第 2 位置との間の移動を規定する規定手段と、

遊技球の入球に基づいて入賞口種別に応じた一定数の遊技球の払い出しを行わせる複数の入賞口と、

遊技盤の所定領域を流下する遊技球を前記遊技盤の背面側に排出可能な第 1 排出口と、

前記所定領域を流下する遊技球を前記遊技盤の背面側に排出可能であり、前記第 1 排出口とは異なる第 2 排出口と、

前記所定領域を流下する遊技球を前記第 1 排出口に誘導可能な第 1 排出流路と、

前記所定領域を流下する遊技球を前記第 2 排出口に誘導可能であり、前記第 1 排出流路とは異なる第 2 排出流路と、

前記視認制限手段が前記第 2 位置にある場合の所定遊技状態において、前記遊技盤の特定領域を流下する遊技球を前記遊技盤の背面側に排出可能である排出手段と、

を備え、

前記視認制限手段は、特定の条件が満たされる場合に、前記性能情報表示手段に表示される前記性能情報の少なくとも一部を前記正面の前記特定方向から視認可能にし、

前記規定手段は、前記特別遊技状態において移動開始条件が満たされる場合に前記視認制限手段の前記第 1 位置から前記第 2 位置への移動を可能にし、前記特別遊技状態において前記移動開始条件が満たされない場合に前記視認制限手段の前記第 1 位置から前記第 2 位置への移動を制限し、

前記複数の入賞口は、遊技球の入球に基づいて所定数の遊技球の払い出しを行わせ、遊技球の入球によって前記移行判定手段による前記移行判定を行う契機を与える第1入賞口と、遊技球の入球に基づいて特定数の遊技球の払い出しを行わせ、前記第1入賞口とは機能が異なる一般入賞口と、を含み、

前記遊技盤への遊技球の発射玉数に対する、少なくとも前記第1入賞口への遊技球の入球に対する遊技球の第1払出玉数と前記一般入賞口への遊技球の入球に対する遊技球の第2払出玉数との合算払出玉数に関する比率である出玉率を演算する出玉率演算手段を備え

、

前記性能情報は、前記出玉率演算手段によって演算される前記出玉率に関する情報を含み、

前記所定領域を流下する遊技球を前記第1排出流路及び前記第2排出流路のいずれかに誘導可能な手段を備え、

前記排出手段は、前記視認制限手段に関する異常がある場合に、前記遊技盤の前記特定領域を流下する遊技球を前記遊技盤の背面側に排出可能であることを特徴とする遊技機。